

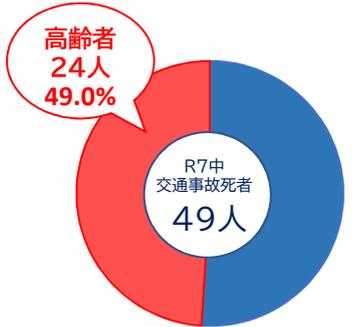
# 高齢者の交通死亡事故

令和7年中、京都府内では**49人**の方が交通事故で亡くなられています。  
そのうち、**24人**が**65歳以上**の高齢者で、全体の**約5割**を占めています。

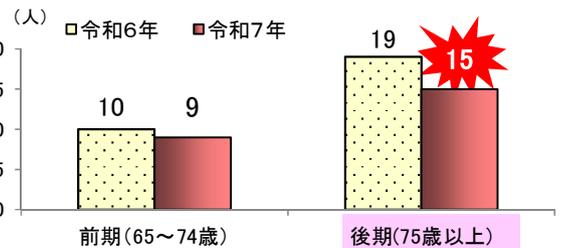
## ● 交通事故発生状況

※ ( )は前年対比

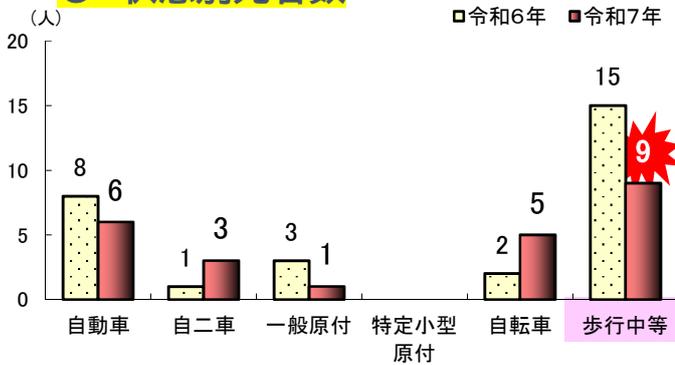
	発生件数【件】	負傷者数【人】	死者【人】
交通事故全体	3,586(-159)	4,058(-175)	49(-3)
うち高齢者が関係する事故	1,248(-122)	632(-81)	24(-5)



65歳以上の交通事故死者(24人)のうち、75歳以上の方が約6割(15人)を占めています。



## ● 状態別死者数

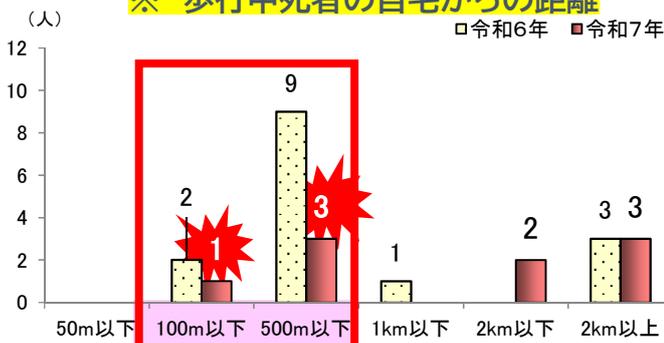


歩行中が**最多**となっています。  
「歩行中」の中でも、「**道路横断中**」の交通事故が**約4割**を占めています。

少し遠回りになっても、**信号**や**横断歩道**を利用し、車などが来ていないか、まわりの**安全をよく確かめてから横断**しましょう。



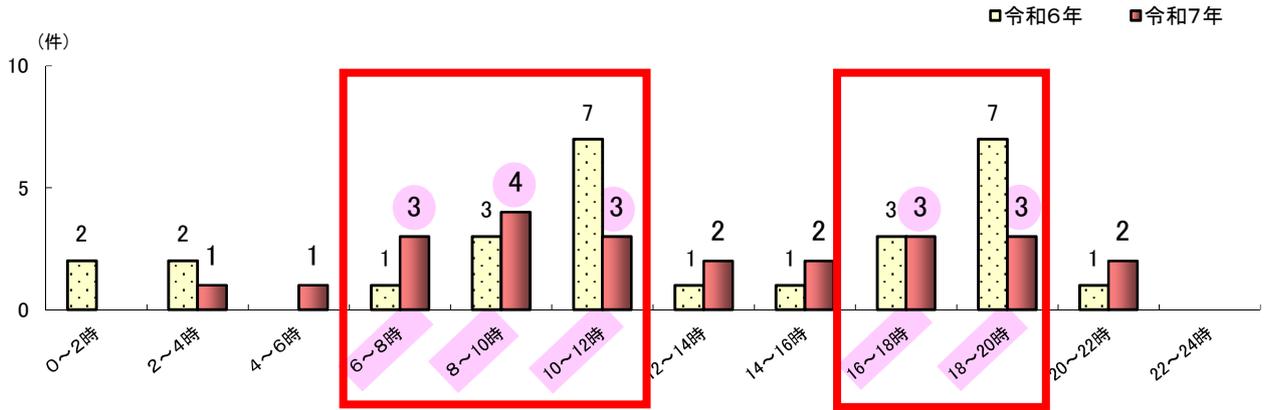
## ※ 歩行中死者の自宅からの距離



歩行者の多くは、**自宅から500m以内**で交通事故に遭われています。



## ● 時間帯別発生件数

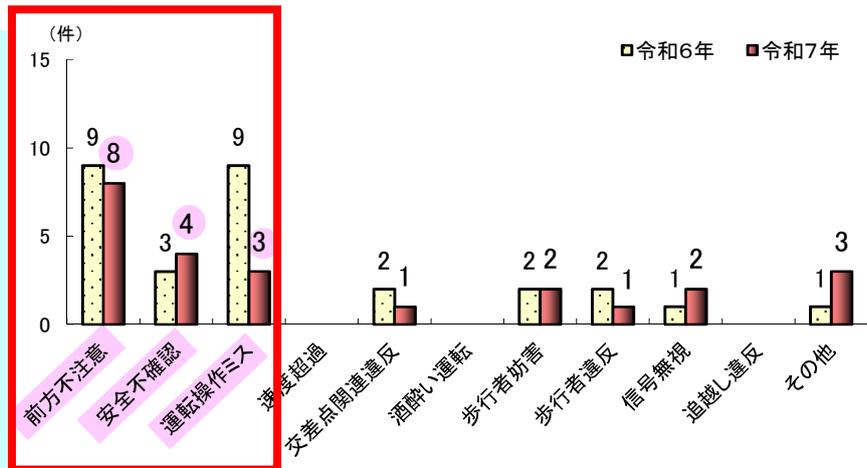


午前中、日没前後に交通事故が発生しています。  
 夕方から夜間の外出では、ドライバーは「早めのライト点灯」で歩行者等の早期発見に努め、歩行者は「反射材用品の活用」で、運転者から目立つ工夫をしましょう。



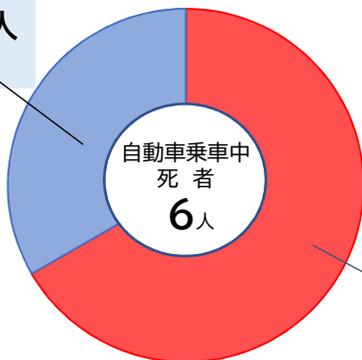
## ● 主な事故原因別(第1当事者)

車両の運転では、**前方不注意**  
**安全不確認**  
**運転操作ミス**  
 が原因となる事故が目立ちます。  
 特に、交差点やその付近では、状況に応じて徐行や停止をして、確実に安全を確かめましょう。



## ● シートベルト着用有無別

非着用 2人  
 (33.3%)



着用 4人  
 (66.7%)

自動車乗車中死者(6人)のうち、2人はシートベルトを着用していれば生存の可能性がありました。  
 後部座席を含む全ての座席でシートベルトを着用しましょう!

